

1 8020運動推進特別事業【東京都歯科医師会委託】

研修名	多数歯う蝕に関する歯科医療従事者向け研修会	多職種向け食育支援講習会	第1回在宅歯科医療研修会	第2回在宅歯科医療研修会	第3回在宅歯科医療研修会
日時	R8.2.2～15	R8.1.16～2.1	R7.11.27 18:30-20:45	R8.2.10 18:30-20:45	R8.3.9～31
方法	オンデマンド配信	オンデマンド配信 (YouTube)	Web開催	Web開催	オンデマンド配信
対象	都内歯科医療機関に勤める方	栄養士／保育士／ 介護士／歯科医療 従事者／その他	すべての医療関係者	すべての医療関係者	すべての医療関係者
受講者数	91名	視聴回数 2,516回 申込者数 1,113名	73名	78名	53名 (3/18現在)
内容	児童相談所の現状と役割、多数歯う蝕の小児と親への対応	おいしいね！を育てる口の発達	はじめての在宅歯科医療～かかりつけ歯科医としての役割～	歯科訪問診療に活かせる口腔機能低下症の診断と対応	在宅歯科医療とACP－歯科が担う現実的な役割と多職種連携への参加のしかた－ ～在宅療養患者と家族のQOLを支える～在宅歯科医療に於ける口腔健康管理の役割

令和 7 年度東京都歯科保健医療関係事業実施状況

2 周術期口腔ケア推進事業【東京都歯科医師会委託】

研修名	第 1 回導入コース 研修会	第 2 回導入コース 研修会	第 1 回基礎・応用 コース研修会	第 2 回基礎・応用 コース研修会	実地研修会
日 時	R7.11.28 18:30-20:00	R8.3.10 18:30-20:00	R7.8.24 10:00-15:30	R8.2.8 10:00-15:30	R8.2.28 15:00-17:30
方 法	Web開催	Web開催	Web開催	Web開催	対面開催
対 象	歯科医師、歯科衛生士 等	歯科医師、歯科衛生士 等	歯科医師、歯科衛生士 等	歯科医師、歯科衛生士 等	歯科医師、歯科衛生士 等
受講者数	43名	45名	76名	37名	19名
内 容	口腔と全身と手術 周術期における歯科医師の役割～患者さんが手術を受けることになった時～ ライフステージに応じた口腔機能の管理に対する評価～周術期等口腔機能管理料の算定について～	医科からみた周術期口腔ケアと多職種連携のポイント 歯科からみた周術期口腔ケアと専門的介入のポイント ライフステージに応じた口腔機能の管理に対する評価～周術期等口腔機能管理料の算定について～	がん治療総論及び緩和ケア概論～周術期口腔機能管理 がん患者への歯科口腔管理 がん患者への口腔管理～化学療法、骨修飾薬、頭頸部放射線治療、緩和ケア、在宅終末期への対応等～	がん医科歯科連携のためのがん基礎知識疫学～予防・検診～治療 がん治療に口腔管理は有用か？、 がん患者への口腔管理～化学療法、骨修飾薬、頭頸部放射線治療、緩和ケア、在宅終末期への対応等～	手間をかけずに安全に成果をあげる口腔ケアの手技（周術期の場合）

3 在宅歯科医療推進事業【東京都歯科医師会委託】

研修名	第 1 回多職種連携研修会	第 2 回多職種連携研修会	第 3 回多職種連携研修会	在宅医科歯科連携シンポジウム～医科・歯科から広がる多職種協働～
日 時	R7.5.29 18:30-20:30	R7.12.9 19:00-20:45	R8.1.22 19:00-20:45	R8.3.22 14:00-17:30
方 法	Web開催	対面開催	対面開催	対面開催
対 象	介護福祉士／ケアマネジャー／社会福祉士／看護師／訪問看護師／歯科衛生士／歯科医師 等	介護福祉士／ケアマネジャー／社会福祉士／看護師／訪問看護師／歯科衛生士／歯科医師 等	介護福祉士／ケアマネジャー／社会福祉士／看護師／訪問看護師／歯科衛生士／歯科医師 等	医師・歯科医師・在宅医療に関わる多職種
受講者数	77名	40名	16名	143名 (3/19現在 申込者)
内 容	この町で暮らす、そして生ききたいを実現するために、多職種で支える食支援	訪問歯科診療における多職種連携の重要性ー現場から見える課題と可能性ー 葛飾区歯科医師会における多職種連携の取組	食支援 在宅での“笑顔”をめざしてー口腔ケアの可能性ー	医師、歯科医師の講演 パネルディスカッション (地域で支える食支援)

令和 7 年度東京都歯科保健医療関係事業実施状況

4 災害時歯科保健医療対策強化事業【基礎研修会のみ東京科学大学委託】

研修名	区市町村体制強化研修（基礎研修会）	区市町村体制強化研修（体制構築研修会）
日 時	①R8.1.16 10:00-16:00、②R8.1.30 10:30-16:30、 ③R8.2.16 10:00-16:10	R8.3.27 13:30-16:00
方 法	①②対面開催、③Web開催	対面開催
対 象	区市町村職員	区市町村職員
受講者数	64名	68名（3/24現在 申込者）
内 容	東京都の災害医療体制、災害食実食、災害時の保健医療福祉支援体制の概要／「食べる」連携の必要性 栄養から見る「食べる」評価～災害時の栄養問題と口腔との関係、歯科から見る「食べる」評価 リハビリテーションから見る「食べる」評価～災害時のリハビリテーションと口腔の健康 災害時の「食べる」の多面的評価と連携、災害時の口腔健康管理に向けた仕組づくり（意見交換）	東京都の取組（災害時歯科保健医療活動ガイドライン等） 東京都保健所（多摩地域）での取組 国の動向・全国の自治体でのマニュアル作成事例・盛り込むべき内容

※上記に加え、令和 7 年度関東ブロックDMAT訓練に参加（詳細別紙のとおり）

5 歯科口腔保健推進事業・青年期歯科口腔保健推進事業【東京都歯科医師会委託等】

別紙のとおり

6 東京都立心身障害者口腔保健センターの運営【東京都歯科医師会指定管理】

R7年度（R8.2まで）及びR6年度の診療実績報告書及び教育研修事業実施報告書については、資料3-2のとおり

7 設備整備費補助事業

補助金名	在宅歯科医療設備整備費補助金	障害者歯科医療設備整備費補助金
対象者	下記(1)及び(2)を満たす病院・診療所 (1) 区市町村・公的団体・民間事業者のいずれか (2) 交付要綱に定める研修等を受講した常勤歯科医師がいること	下記(1)～(3)を満たす病院・診療所 (1) 区市町村・公的団体・民間事業者のいずれか (2) 麻酔科医又は歯科麻酔科医が勤務していること (3) 個々の障害者に対する合理的配慮が的確に行えるよう、環境の整備を積極的に実施していること
対象経費	在宅歯科医療に必要な医療機器	障害者に対する全身管理下での歯科医療に必要な医療機器（新たに受け入れまたは受入を拡大する場合）
補助基準額 （補助率）	3,638千円（補助率 2 / 3）	22,210千円（補助率 2 / 3）
令和 7 年度実績	交付決定： 3 9 診療所	交付決定： 3 診療所

訓練概要

- 目的：多摩東部直下地震を想定した、関東ブロックの各都県DMATや関係機関との連携による、病院支援及び医療搬送等の訓練を実施し、大規模地震時における医療救護活動の充実強化を図る。
- 訓練日時：事前訓練 令和8年1月30日（金）
 ※発災は1月30日（金）11時（訓練時間＝実時間進行）
 本訓練 令和8年1月31日（土）
- 事後検証会：令和8年2月1日（日）午前中
- 想定地震：多摩東部直下地震（令和4年5月公表）
- 訓練運営事務局：東京都保健医療局医療政策部救急災害医療課
 東京都立病院機構
 DMAT事務局 関東ブロック担当
- 東京都保健医療福祉調整本部等訓練参加機関

日本DMAT（プレイヤー・コントローラー）	医療機関（災害拠点病院等）90病院	全日本病院医療支援班（AMAT）
東京都災害医療コーディネーター	東京都医師会（JMAT）	災害透析医療ネットワーク
東京都災害時小児・周産期レジソン	東京都歯科医師会（JDAT）	東京都JRAT
災害薬事コーディネーター	東京都薬剤師会	都立病院機構
東京DMAT	東京都看護協会（災害支援ナース）	東京都（関係各局）
DPAT	日本赤十字社東京都支部	

訓練項目と主な内容

東京都歯科医師会及び
東京都・歯科医療担当が参加

項目	主な内容
保健医療福祉調整本部の設置運営	医療対策拠点・都災害対策本部・関係機関との連携、調整本部会議の実施、DMAT等の受入 等
DMATの活動	DMAT調整本部、DMAT活動拠点本部の設置運営 等
医療対策拠点の設置運営	都庁本部との連携、DMATの受入、圏域内の病院支援、各種調整 等
医療機関の活動	院内災害対策本部の設置運営、病院BCPの発動、DMATの受入、EMISの入力 等
ロジスティック訓練	医薬品やライフライン等の支援要請への対応、通信の確保 等
航空機活用に係る自衛隊との連携	自衛隊中央病院を活用したヘリコプター実機による医療者派遣（実動）、患者搬送調整（図上）
避難所等における要配慮者対策	超急性期における災害時要配慮者対策に係る医療チームの派遣 等 ※ 調布市に協力いただき実施
精神科病院の災害医療活動	精神科病院の病院避難 等
在宅医療・透析医療患者への支援	在宅医療・透析医療患者の被災情報収集及び支援の実施 等

会場別訓練項目

東京都保健医療福祉調整本部 会場：都庁

- ・本部の設置運営
- ・指揮系統の確立
- ・情報の集約、ロジスティクス
- ・他機関との連携
- ・支援チームとの調整(DMAT以外)
- ・搬送調整
- ・区市町村支援



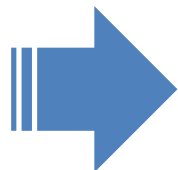
調布市災害対策本部 会場：調布市役所

- ・市災害対策本部による応援チームに対するオリエンテーションの実施
- ・市災対本部指令部門と応援チームを含む多職種多機関が連携した要配慮者対策の実施に向けた諸調整
- ・都保健医療福祉調整本部会議における状況報告



歯科関連訓練

- 目的：災害関連死を防ぐため、避難所・福祉施設・在宅で避難する要配慮者に対する医療提供体制の確立に発災直後から着手する基礎的自治体を支援する訓練に参画することで、災害時における歯科保健医療体制の検討に役立てる。
 - 訓練概要：東京都保健医療福祉調整本部（東京都と東京都歯科医師会として訓練に参加）
 - ・保健医療福祉調整本部会議への出席、歯科保健医療チームの都内への派遣計画の策定等調布市災害対策本部（要請に基づき調布市へ応援に来た、他県の歯科保健医療チーム想定で訓練に参加）
 - ・調布市内の要配慮対策に係る調布市等との調整、活動方針の決定等
- 訓練で見えてきたこと（訓練参加者へのアンケート結果）
 - ①歯科医師会の役割の重要性の再認識
 - ②発災直後の歯科医療救護班の体制づくり（初動で動ける団体の想定等）、歯科大学等との連携強化の必要性
 - ③非会員の先生方も災害時に協力（治療受入等）できるような仕組づくり
 - ④自治体内部で活動方針などを決定する場合には、地元の歯科医師会の先生が存在が必要不可欠
（地元の歯科医師会の発災後の活動計画・地元の歯科医療機関の状況を理解していないと、活動方針の検討はできない）



令和8年度に新たに実施する災害時歯科保健医療体制研修に反映
東京都が実施する会議などで、引き続き検討を進める

【令和7年度の取組】

- 1 インフルエンサー等を活用し、青年期（概ね18歳～30歳）向けに歯科の普及啓発を目的とした**動画**を制作
- 2 動画の普及のため、**SNS広告**及び**中央線の車内広告**を実施
- 3 動画の**効果測定のための調査**を実施
- 4 ワイドコラボ協定を締結する**FC東京の協力のもと、イベント**を実施

1 動画制作

- 男女問わず若い世代への訴求力が高い**VTuber**（**バーチャルYouTuber**）を活用した動画を制作
- 多くの視聴者に閲覧してもらえよう、視聴時間について**60秒**と**15秒**の動画を制作



VTuber あまねもも

- ・YouTube登録者数6.6万人
- ・YouTubeを中心に音楽ライブや、企業とのコラボイベント等を実施

2 動画の普及

- ターゲット（年齢・地域）を限定して**YouTube・Instagram**広告を実施（R8.2/16～3/27）
- 中央線の車内広告**を実施
 - ・中央線トレインチャンネル（R8.3/2～3/8、3/16～3/22）
 - ・併せて、R6に制作したオーラルフレイル動画のまど上広告を実施（R8.3/9～3/22）



3 動画の効果測定

○動画視聴後の意識変容を確認するための調査を実施（R8の動画制作等に活用）

- ・調査時期：R8.2～3
- ・対象：東京都在住の18～30歳 2,000人
- ・内容：動画視聴前後の定期健診の受診・デンタルフロス使用に関する意識の変化・動画の内容に関する意見等

4 FC東京イベント実施

○日時：R8.2/28（土） FC東京 対 柏レイソル戦

○場所：味の素スタジアム

選手動画＋青年期動画放映

- ・FC東京の現役選手による歯科の普及啓発動画（30秒程度）
- ・青年期歯科口腔保健普及啓発動画（15秒）

※当日の試合開始前及びハーフタイムに放映（計3枠）

来場者へのノベルティ＋リーフレット配布

- ・試合当日に歯ブラシ（東京都・FC東京のロゴ付）及び歯科口腔保健に関するリーフレットを1,000名へ配布

歯科相談体験ブースの設置

- ・イベントスペースで歯科医師会委員3名による歯科相談を実施
- ・試合開始前4時間（11-15時）・130名程度対応
- ・相談者先着100名にチームタオル配布（体験希望者を誘引）

